

平成21年度 第2回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 平成21年9月29日(火) 午後2時00分～5時00分

【場 所】 豊田市役所 南庁舎5階 南53会議室

【出席者】

委員

加藤 勇夫〔愛知学院大学商学部客員教授〕
河木 照雄〔豊田商工会議所副会頭〕
杉戸 厚吉〔社団法人地域問題研究所計画部長〕
浅井 良隆〔コンサルティング オフィス アット・ドリーム〕
澤田 恵美子〔豊田市消費者グループ連絡会会長〕
松井 栄子〔三州足助公社〕
河合 朗浩〔名古屋商科大学 学生〕

事務局

関 範夫〔豊田市産業部長〕
鈴木 辰吉〔豊田市産業部調整監〕
太田 錬治〔豊田市産業部商業観光課長〕
横山 薫〔豊田市商業観光課副主幹〕
清水 章〔豊田市産業部商業観光課係長〕
小林 洋明〔豊田市産業部商業観光課主査〕
鈴木 啓介〔豊田市産業部商業観光課主査〕

傍聴者

なし

【次 第】

- 1 開 会
- 2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて
- 3 委員長あいさつ
- 4 報告事項
 - (1) 経営革新モデル店舗支援事業の補足説明について
 - ・一番街商店街振興組合
- 5 審議事項
 - (1) 空き店舗活用支援事業について
 - ・足助中央商店街協同組合
 - (2) 商店街活性化計画について
 - ・大林ヒルズ商店街振興組合
- 6 閉 会

【会議録（要約表記）】

1 開会

事務局より、平成21年度第2回豊田市商業振興委員会の開会の宣言が行われた。

2 会議の公開及び本日の審議スケジュールについて

事務局より、資料の確認、傍聴人数、審議スケジュールについて説明が行われた。

3 委員長あいさつ

加藤委員長よりあいさつが行われた。

4 報告事項

（1）経営革新モデル店舗支援事業の補足説明について 【鈴木時計店】

文書会議での集約結果をもとに補足説明が行われた。

参照：文書会議録

【主な質疑応答】

委員

長い目で見て商店街の中心となるように期待する。ただし、個店だけでこの事業を定着させることは難しいので、長期的な商店街の協力が不可欠である。

委員

認知度が高くなるまでの仕掛けが難しい。店だけでなく商店街全体で取り組むこと。

委員

ひとつの例としてフリーペーパーを活用して周知してみてもどうか。経費節減になるだけでなく、より認知度が上がるのではないか。

委員

補足説明について了承する。

5 審議事項

（1）空き店舗活用支援事業について 【足助中央商店街協同組合】

足助中央商店街協同組合より、資料2に基づき内容説明を行い、認定の際に参考とする意見を委員からいただいた。

【主な質疑応答】

委員

休みは？ 火曜休み

仕入れ方は？ 直接農家より仕入れ

特産品はあるのか？ 特になし。家庭用の野菜を主とする。

返品は？ 基本的にしない。残ったものは加工する。

ずっと長くやっていってほしい。

委員

日持ちのしない生鮮食品を出すのではなく、加工品を出したほうがいいのか。

委員

商店街の外側に位置しているが客のターゲットは？

当面は地元の住人である。地元の足場固めをして地産地消を促す。ただし、11月・2月などの観光シーズンは、観光客もターゲットとする。

委員

近くの観音寺にイベントはあるのか。八日市のような仕掛けがあってもいいのではないか。

特にイベントは無い。

産直関係は、農政課が市全体で整理しPRしていく準備があるので情報提供をする。

委員

本事業の認定は妥当であると考える。

(2) 商店街活性化計画について

【大林ヒルズ商店街振興組合】

大林ヒルズ商店街振興組合より、資料3「大林ヒルズ商店街振興組合 商店街活性化計画」に基づき内容説明を行い、認定の際に参考とする意見を委員からいただいた。

【主な質疑応答】

計画が基本構想のような作りになっているため、内容を精査し、3カ年の具体的な計画に絞り、次回の商業振興委員会において諮りなおすものとする。

6 その他（連絡事項）

今後の予定

第3回商業振興委員会開催予定日 平成22年3月16日（火）14:00～

以上